

情報
収集大学との連携による
本渡中央商店街
の点検

開催日：平成15年2月15日(土)

崇城大学芸術学部の磯貝教授、原田講師及び学生6名に、実際に商店街を歩いてもらい、UDの視点で点検を実施しました。点検項目についてはあえて指定せずに、良い点、悪い点、また、商店街や各個人商店の印象などについても意見を出してもらいました。



商店街の点検1



商店街の点検2

デザイン
検討本渡中央商店街の
点検後の意見交換会

開催日：平成15年2月15日(土)

出席者：実行委員会、
ほんどルネッサンス、崇城大学

商店街の点検の結果を基にした
意見交換会を開催しました。



意見交換会

学生等から出された意見(概略)

長 所	短 所
<ul style="list-style-type: none"> ●スマイルパーク(広場)がある ●通りと店との間に段差がない ●休憩のためのテーブルやいすがある ●通りが曲がっていて先が見通せない ので、初めて訪れる人は先に何が あるんだろうとワクワクする 	<ul style="list-style-type: none"> ●サインが不十分で店の配置がわかりにくい ●通りのタイルが滑りやすい(雨天) ●点字ブロックの上に自転車が止めてある ●アーケードの屋根が汚れ、通りが暗い ●商店街に声がなく、元気がない

商店街づくりについての提言

- 商店街に周辺の観光スポットの案内板を設置してはどうか
- 通りに特徴を出すため、業態毎にまとめてはどうか
- 特色を出すために、置き看板を統一して導入してはどうか
- アーケードの明かりをもっと下げて、ポイント照明(白熱灯)にしてはどうか
- ここでしか手に入らないもの、食べられないものを店に置くのがよい
- 店の前に珍しい商品を置けば、客とのコミュニケーションのきっかけになる

作業ステップ

実施体制
づくり取組み方法
の検討UD
学習会情報
収集デザイン
検討UD
導入効果・課題
の検討UD
導入

サイン(案内表示)等の整備

商店街を訪れる人たちに楽しく買いものをしてもらうために、トイレの場所など大切な情報を伝えるためのサインを整備したほか、高齢者や足が不自由な人などに使ってもらおうと商店街に車いすを配置しました。



トイレのサイン1



トイレのサイン2



車いす

啓発フラッグ(旗)の製作と
本渡中央商店街への掲示

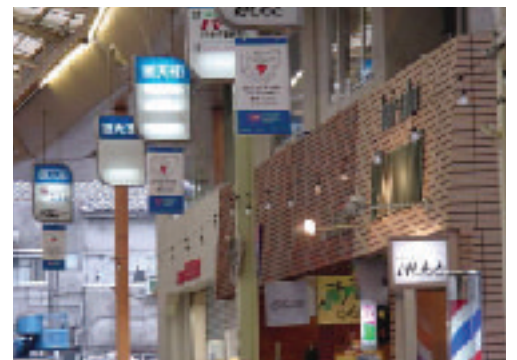
商店街がデザイン製作した啓発フラッグを、商店街の通り全体に掲示しました。

これは、商店街を訪れる人たちへのPRのほか、商店街の取組みへの決意を表明するシンボルにもなっています。

なお、現在は予算の都合で1店おきに掲示していますが、将来的には全店舗に掲示したいと思っています。



掲示されたフラッグ



商店街の掲示の状況

マニュアル(宣言冊子)の作成

本渡中央商店街が取り組む事柄をまとめた
マニュアルを作成しました。



主な内容

5つのまちづくり

- 1 つどえる街 : 休憩所や案内所を設置します。
あいさつ運動を実施します。
- 2 わかる街 : サインなどの文字や写真、商品の値段を大きく表示します。トイレや案内所がわかるマップを提供します。
ホームページでの案内をします。
- 3 安心・安全な街 : 各個人商店では、子どもたちが危険を感じたときに、助けを求めてかけ込むことができる「子ども110番」を実施します。
入り口の段差をなくします。
- 4 楽しむ街 : 高齢者などのお買い物をお手伝いします。
季節折々の限定品やおすすめ品を提供します。
- 5 学べる街 : 商品知識を豊富にし、皆様にわかりやすく提供します。
知恵袋のお年寄りとの交流を進めます。

空き店舗の活用

県商工政策課の「商店街等活性化事業」の適用を受け、平成15年度には、空き店舗を活用したUDスペース「もやい館」をオープンし、次の取組みを行っています。

- UD商品の展示、販売、情報発信
- 買い物サポーター設置
- よろず相談、手荷物預かりコーナー設置
- 子どもたちの社会教育、UD学習のための体験学習の開催
- 地域団体やボランティア団体の1日ショップ等への場所の提供 等

作業ステップ

実施体制
づくり取組み方法
の検討UD
学習会情報
収集デザイン
検討UD
導入効果・課題
の検討UD
導入本渡中央商店街等が
独自に行ったUD関連の取組み

店主を対象とした手話教室の開催

開催日：平成15年1月27日(月)～2月17日(月)
※毎週月曜日/計4回

すべての人に優しい商店街づくりをめざして、店主等を対象とした手話教室を開催しました。

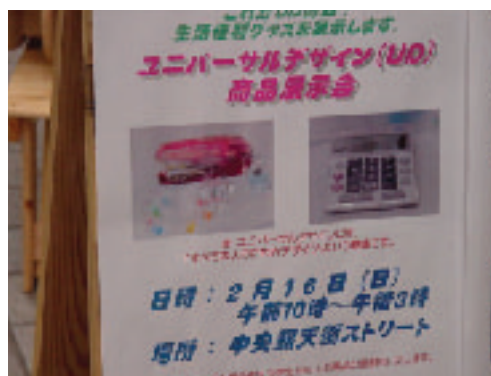
自己紹介や簡単な挨拶、値段や数量の答え方など、実用的な内容を中心に、基礎的な手話を学びました。



参加者の名前の手話を教える講師

UD商品の展示 開催日：平成15年2月16日(日)

商店街のイベントにあわせてUD商品を展示し、崇城大学の学生が直接通行人に説明するなどの啓発活動を行いました。



展示会の開催を知らせる掲示板



通行人に商品説明をする学生

商店主を対象にUD講習会を開催

開催日：平成15年3月4日(火)

崇城大学芸術学部の磯貝教授と原田講師を招いて「人に優しいまちづくり・商店街づくり」講習会を開催しました。
(ほんどルネッサンス主催、実行委員会後援)

①UDとは何かについて(原田講師)

UDとは何かについて、具体例を参加者に示しながら説明。

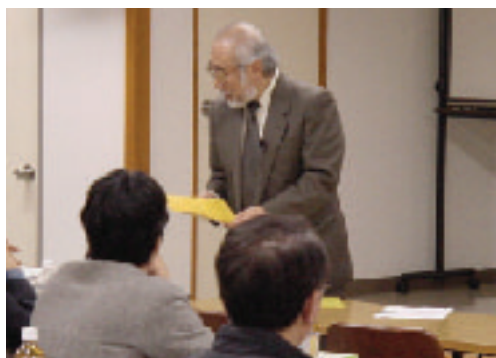
具体例:超低床電車、陶器、
点字ブロック、駅の案内板、
文具等



UD講習会1

②UDの現況について(磯貝教授)

- UDへの取組みが、世の中の潮流になりつつある。(企業の取組みを紹介)
- UDは、便利さだけでなく、美しく、使いやすく、品質や環境にも配慮されていなくてはならない。
- 崇城大学が関わったUD関連の取組みについて、ビデオ放映。



UD講習会2



UD講習会3

作業ステップ

実施体制
づくり取組み方法
の検討UD
学習会情報
収集デザイン
検討UD
導入効果・課題
の検討効果・課題
の検討

事業効果

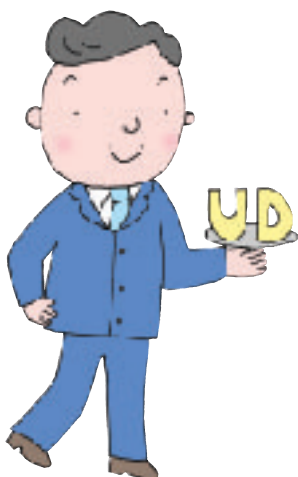
①本渡中央商店街の店主への啓発

店主の理解と活動を促すため、商業においては「UD=おもてなしの心」と定義し、UD導入により顧客サービスが向上し、商店街の魅力を高め、ひいては集客・売上げ増につなげていくという目標を掲げました。

これまでの取組みを通じて、徐々にではありますが「すべての人に優しい=顧客満足度の高い」商店街づくりというUDの考え方が店主に浸透しつつあります。

②他の商店街等への波及効果（マニュアルの作成）

本渡中央商店街の店主が中心になり、取り組む事柄をまとめたマニュアル（宣言冊子）を作成しました。このマニュアルは、本渡中央商店街自体の取組みの充実をもたらすだけでなく、天草の他の商店街、商店づくりの参考となり、取組みの輪が広がることが期待されます。



③本渡中央商店街のサイン等の充実

今回の取組みによって、サインの不備が認識され、本渡市によるトイレのサイン整備や車いすの設置に結びつきました。また、フラッグ掲示による商店街全体への波及効果が期待されます。

課題

①推進体制の整備

事業効果を上げるためには、UD導入を図る団体や地域が一体となって、取り組むことが望ましいのですが、UDへの理解が十分普及していない中で、特にソフト事業を行う場合、取り組む「人」により成果が大きく左右されます。


②多くの人に来てもらうためのUDへの取組み

商店街のUDの取組みを、訪れた人々に感じてもらい、多くの人々が利用しやすくなるように、具体的なUD導入の取組みを、商店街一丸となって進めていかなければなりません。





UDに取り組むと 費用がかかるのではないですか？



UDについては、段差の解消とか、通路の拡幅等のハード面での取組みであると思っていましたので、資金的な面から困難であると思っていました。


しかし、段差の問題は、私たちが車いすを使用される方などの手助けをすれば代替措置になりうること、陳列の仕方を工夫することで商品が見やすく、取りやすくなり、子どもたちやお年寄りへの配慮が可能になることなど、お金をかけなくてもUDに取り組めることが理解できました。

さらに、学習会や講演会をとおして、UDは商売の基本である「おもてなし」に通じるものであるということにも気づくことができました。

(回答者:本渡中央商店街)



商店街全体で UDに取り組むために、 どのような工夫をしましたか？



まず、すべての人を視野に入れたUDの視点でサービスの提供ができれば、売り上げに結びつくメリットがあることを、実際にUDに取り組んで効果をあげている商店街(健軍商店街)の方に話をさせていただきました。

そして、その中からUD導入に熱意のある商店主が率先して取り組んだところでした。

取組みの中で、商店街のすべての商店にUDを意識してもらうために、取組みへの決意を表明するフラッグを作成して商店街全体に掲示したり、取り組む事柄をまとめたマニュアル(宣言冊子)を作成し配布しました。

(回答者:本渡中央商店街)